

京極運輸商事株式会社 2019年度 運輸安全マネジメント実施結果 について

①

項目	内 容	具体的な内容
目 標	1. 交通事故の減少目標 ・重大事故 0件（現状維持） ※自動車事故報告規則第2条に規定する事故 ・人身事故 0件（前年2件） ・物損事故 10件以内（前年33件、前年比70%減）	1. 目 標 <交通事故の減少目標> ・重大事故 0件（現状維持） ※自動車事故報告規則第2条に規定する事故 ・人身事故 2件（前年2件） ・物損事故 19件（前年33件、前年比42%減）
	2. 輸送の安全に関する投資額（予算額および内容） ・研修会開催費用（出勤手当、外部講師・会場使用料等） 130 万円 ・秋季安全運動実施費用 10 万円 ・アルコールチェッカーメンテナンス費用（8式） 62 万円 ・車載端末更新（リース、保守費用） 381 万円 ・I T点呼（機器・ソフトリース、保守費用） 45 万円 ・バックアイカメラ導入費用(13式) 130 万円 投資予算額合計 758 万円 <表彰関連予算額> ・連続無事故 褒賞金等 200 万円 ・優秀運転職ドライビング技能表彰、優秀技能職表彰、優秀運行/整備管理者表彰 副賞 50 万円 表彰予算額合計 250 万円	2. 輸送の安全に関する投資額実績（投資実績および内容） ・研修会開催費用（外部講師・会場使用料等） 163 万円 ・秋季安全運動実施費用 6 万円 ・アルコールチェッカーメンテナンス費用（8式） 62 万円 ・車載端末更新（リース料・保守料） 381 万円 ・I T点呼（リース料・保守料） 45 万円 ・バックアイカメラ導入費用 15式 171 万円 ・血圧計導入費用 1式 9 万円 ・災害対策用食料品類車載セット・期限切れ品買替 22 万円 投資実績 合計 859 万円 <表彰関連実績> ・連続無事故 褒賞金等 141 万円 ・優秀運転職ドライビング技能表彰、優秀技能職表彰、優秀運行/整備管理者表彰 副賞 53 万円 表彰額 合計 194 万円
計 画	1. 労使による安全委員会を本社及び各事業所に設け、発生した事故の原因分析、予防対策、輸送の安全に関する情報を共有するために、定期的又は必要に応じ、適宜開催する。	1. 安全委員会等 ・中央安全衛生委員会（4/19開催）…議題：運輸安全マネジメント2018年度実績・2019年度計画、血圧測定要領について ・地区安全衛生委員会…各支店で月1回実施
	2. 貨物自動車運送事業安全性評価事業（Gマーク）の更新、取得	2. 2019年度の更新、取得なし
	3. 健康管理の推進/健康診断・各種診断、血圧測定等の実施 ①健康診断の年2回の実施(春・秋)を今年も継続する。 ②睡眠時無呼吸症候群（S A S）検診の運転職全員の受診（治療中の者を除く） ③乗務前点呼時に、血圧測定の実施	3. 健康管理の推進 ①健康診断：輸送部門で実施率99%（労災による欠勤者1名、退職者1名、病欠者1名） ②S A S検診：運転職全員の受診を図った（138名受診…治療中の8名を除く）⇒要検査 D判定=22名、要精密検査 E判定=0名（内SAS治療開始=3名） ③血圧測定：2018年10月よりトライアル実施、2019年5月より運転職全員に義務付け ・重症(上180以上・下110以上) … 2名、9回検出（対象者退職済）、中等症(上160以上180未満、下100以上110未満) 延べ検出回数 286回 ⇒測定人員180名 検出率（回数）=0.8% 内42名検出（人数）=23%※退職者除き 高血圧治療中8名、治療開始者9名 年間10回以下/24名…経過観察
	4. ドライバーの研修・教育 研修会を年11回開催する。	4. 研修会 11回開催 ①本社支店合同研修会（化学品・石油輸送グループ合同） 外部講師依頼 ・京葉支店：5/12（市原市五井会館）…106名参加 川崎・京浜支店：5/19（川崎市教育文化会館）…83名参加 ②支店主催研修会 ・京葉支店：11/17…81名参加（石油Gr、化学①、②・白井事業所合同） 川崎支店：10/26…47名参加 【参考】京浜支店（倉庫）：12/7、21名参加 京浜支店（輸送）：12/14、20名参加 ③各事業所主催研修会 ・富士事業所：6/11…10名参加 蔵王事業所：本社支店合同研修会に参加…4名 ・倉敷事業所：5/24・27…19名参加 ④本社主催研修会（職長・班長研修会/外部講師依頼） ・京葉支店 7/20…25名参加、2/15…25名参加 川崎支店・京浜支店 7/6…31名参加、2/22…28名参加
	5. 計画に基づいた教育を実施する。	5. 地区安全衛生委員会等に併せ、月一回教育実施 ・国交省告示の「事業者がドライバーに対して行う一般的な指導及び監督の指針」に基づく12項目の教育を各支所等で実施。
	6. 飲酒運転を防止する。	6. 点呼時、アルコール検知器によるアルコールチェックを実施。 ・「飲酒運転防止規定」による飲酒運転防止を継続実施 ⇒ 2019年度のアルコールチェック抵触者：7名（7回）、その他飲食等による検知者：11名 ・アルコール検知器の保守校正契約を締結し、精度の維持管理に努めている。
	7. 危険への感受性を高める。	7. 危険予知活動の定着を図った ⇒ 危険予知のDVDを毎月購入。職長班長研修会、各支店での役付会等で活用。
	8. 輸送の安全にかかわる公的行事等を計画する ①春の全国交通安全運動（5/11～20）、②秋の全国交通安全運動（9/21～30） ③全国安全週間（準備 6/1～30、実施 7/1～7）、④全国労働衛生週間（準備 9/1～30、実施 10/1～7） ⑤年末年始の輸送等に関する安全総点検（12/10～1/10）	8. 公的行事…全て期間内に実施済み ・「秋の全国交通安全運動」に合わせ、社長、役員等による添乗実施（9/25、26、27、10/1） ・「全国安全週間」時、役員等による職場巡回実施（7/1本社朝礼、7/2各職場巡回） ・各支店・事業所で計画を作成・実施。社内の実施状況を取りまとめ報告（① 6/1、② 12/27、③ 7/18、④ 12/21）
	9. その他 ①秋季安全運動 全社5S運動の実施 ②免許・資格取得促進 ③適性診断の受診 ④BCP訓練（事業継続計画）の実施、検証（化学品：10/23、石油：11月） ⑤連続無事故、安全に対する取組推進者表彰 ⑥外部講習会・研修会の受講推進 ⑦改善基準の遵守(連続運転時間4時間以内)	9. その他 ①事故防止対策として「秋季安全運動」実施 ⇒ 11/20～30「全社5S運動」準備期間、12月「全社5S運動」推進月間（推進月間に合わせ、社長、役員による朝礼実施） ②取得者 運行管理者：12名、第1種けん引免許：2名、危険物乙種2類：3名、危険物乙種4類：5名、危険物乙種6類：2名 ③初任、適性診断の確実な実施を図った ⇒ 初任診断23名、適性診断3名（他、一般診断31名受診） ④BCP訓練実施 ・化学品：10/23実施（対象を支店から事業所にも拡大）、石油：11/18実施 ⑤連続無事故期間入社後1年及び5年毎に表彰実施 ⇒ 今年度表彰者：21名（15年：2名、10年：2名、5年：4名、1年：13名） ⑥外部講習会・研修会の受講を図った（講習会8回、11名受講）…安全運転、トレーラ適正使用、エコドライブ、日常点検、飲酒運転防止、ドラレコ活用等 ⑦デジタコ用新ソフト/エストラを導入し、改善基準遵守状況の確認を行い、抵触者に対する指導を強化した。 ⑧経験3年未満の運転職のフォローアップ。石油部門運転職の添乗教育を集中実施（40項目を5段階で評価、A評価55%。事故発生件数4件と前年比70%減少）
評 価	・評価及び改善は、年1回以上行なう。	・輸送安全会議（4/18）2018年度実施結果の評価、2019年度実施計画の内容討議